

～未来社会をたくましく、しなやかに生き抜く児童の育成～



# 時津の風



令和8年4月14日（火） 発行人：校長 本田 清人

## ～今年度もどうぞよろしくお願いいたします～

新年度が始まりました。子どもたちの朝の登校の様子を見てみると、新しい学年となり、それぞれが希望に満ちた表情で登校してきています。このはじめの一步を、子どもたちの健やかな成長につなげるために、今年度もそれぞれがもてる力を最大限発揮し、全職員一丸となり取り組んでまいります。

さて、8日の始業式では、「時津小学校をこんな学校にしたい」という私の思いを子どもたちに伝えました。

その一つは、「**失敗を応援する学校**」です。大人であっても失敗するのですから、子どもであるみなさんが失敗しないわけがない。大いに失敗してください。そして、その失敗から学んでいきましょう。ただし、誰でも失敗はしたくないものです。「友達の失敗を頑張ったねと応援してあげられる人になってほしい」という話をしました。

二つめは、「**たいのあふれる学校**」です。時津小学校が「失敗を応援する学校」になっていけば、自然と「あれがしたい」「こんなことをやってみたい」などと、みんなが失敗を恐れずに、いろんなことに挑戦しようという気持ちがわいてくるのではないかと思います。「あれしなさい」「これしなさい」と先生たちや周りの大人に指示をされて動くのではなく、今年は、もっともっとみんなの「たい」が溢れて、自分たちで決めて動けるようになってほしいということを伝えました。



子どもたちと一緒に、「失敗を応援する学校」そして「たいのあふれる学校」をつくっていきたいと思います。

### 1 学期始業式 児童代表あいさつ（6年）

二人とも最高学年としてのやる気に満ちた素晴らしい発表でした！

#### 〇〇 〇〇 「私ががんばる二つのこと」（一部改訂）

私は、6年生になってがんばりたいことが二つあります。

一つめは**発表**です。5年生までの私は、答えが分かっている「もし間違っていたらどうしよう」「笑われたら恥ずかしいな」と周りの目を気にしてしまい、自分に自信がもてませんでした。心の中では言いたいことがあふれているのに、あと一步が踏み出せなかったから、自分ももそもそしているような気持ちになっていました。しかし、小学校生活最後の1年を迎えた今、「できないことを克服して、自分を変えたい」と強く決意しました。そこで、私は「1日に1回は、必ず自分から手を挙げること」を目標にします。そして、アウトプットする自信をつけていきます。

二つめは**本をたくさん読む**ことです。なぜかという、5年生までの私は全然本を読もうとしていなかったからです。本を買ってもらっても、すぐにあきて読まなくなったり、他のことに夢中になってしまったりして本があることを忘れてしまっていました。学校でおすすめされた本などが気になって借りることがあったから、今年はたくさん本を借りて、学校でできるだけ本を読みます。そうすれば、きっと「本を読もう」と思う気持ちのスイッチを入れられるようになるはずです。家にもまだ読んでいない本がたくさんあるので、家でもそのスイッチを入れて、たくさん本を読めるようになります。

皆さんも目標を立てて、充実した1年にしてみませんか。

#### 〇〇 〇〇 「6年生でがんばりたいこと」（一部改訂）

私には、最高学年として達成したい二つの大きな目標があります。

一つめは「**発表の質を高めること**」です。5年生での私は、自信があるときは自分から進んで手を挙げることができました。6年生では、そこからさらに一歩進み、単に正解を述べるだけでなく、「なぜそう考えたのか」という根拠を図や言葉を使って誰にでもわかりやすく説明することに挑戦します。特に算数の授業では、自分とは異なる友達の意見を大切に、友達と話をする中でいろいろな視点から学びを深めていきたいと考えています。将来、社会に出て自分の意見を発信できる大人になるために、自分の言葉で想いを届ける経験を積み重ねていきます。

二つめは「**学年のきずなをこえ、温かいきずなの輪を広げること**」です。これまでの私は、下級生を前にすると緊張してしまい、話しかけるチャンスを逃してしまうことがありました。しかし今年は、不安そうな表情をしている1年生に自分からかけ寄り、笑顔で声をかけられる頼もしい存在をめざします。相手の目線に立って心に寄り添い、学校中に安心感と笑顔を増やしていきたいです。

目標を達成するために一番大事なことは「自分から一歩踏み出す勇氣」です。失敗を恐れて立ち止まるのではなく、挑戦し続けることこそが最高学年としての本当の強さだと信じています。1年後の卒業式で「自分にできる全てをやり切った」と胸を張って言えるよう、一日一日を大切に過ごしていきます。

※裏面に、令和8年度の職員について載せています。